

香美町ならではの 教育の挑戦

■問い合わせ先 町教育委員会こども教育課

幼児期の学びから小学校教育へ

【遊びを通した多くの学び】

幼稚園や保育所では“遊び”を通した多くの“学び”が重要と考えています。例えば、正月遊びの『こままわし』では、ひもを巻くという手指を使った繊細な能力、タイミングよくこまを投げひもを引くリズム感が必要です。うまく回らなければ、悔しさや悲しさが込み上げ、時にはこまに八つ当たりしたりしながらも、「もう1度やってみよう！」と挑戦心が芽生えます。友達のやり方をまねて、ひもの巻き方や投げ方を考え頑張り、初めて回せた時は最高の笑顔になって、達成感や満足感を味わいます。うまくなると、さらに技を研究したり、友達に教えたり、誰が長く回せるか競ったりします。『こままわし』1つにも、これだけの学びがあり、このような学びの機会が幼児期の生活の中の至る所にあります。ただ、その遊びを学びにつなげていくには、少しの何気ないサポート（きっかけづくり）が必要で、幼稚園や保育所ではそのようなサポートをさりげなく行い、子どもたちの成長へと導いています。



▲こままわし会（わくわく交流会）

【幼稚園教育から小学校教育へ】

幼稚園では現在、横のつながりを意識した『わくわく交流会』を行っており、職員は子どもたちに必要な環境構成を考えたり、援助の工夫を試行錯誤したりしながら、大切にしたい育ちや学びが習得できるよう計画しています。そして、『わくわく交流会』での学びが各園での日々の学びへつながるよう方向づけています。このように、幼稚園では町内の園児が同じ育ちを経験し、小学校1年生のスタートラインに立てるよう各園の教育課程の中にも組み込んでいます。



▲小学校の持久走の応援

また、小学校入学を見据えて、運動会予演会の見学や持久走の応援、音楽会鑑賞や相互参観、校内見学や体験入学を行うなど、小学生になった時のイメージを膨らませながら、憧れの気持ちを抱き、少しでも小学生や小学校の先生を身近に感じられるよう小学校との連携も大切にしています。

【就学前施設における教育・保育スタンダードカリキュラムの策定】

急激な少子化を受け、町内の小学校再編が進む中、就学前施設も再編の議論が進み、幼稚園と保育所の機能を合わせ持つ『認定こども園化』を進めることとなりました。これを受け、町内の公立・私立の全ての就学前施設で、育むべき子どもの姿を共有し質の高い教育・保育を提供していくため、本年度に公立・私立の園所長などの関係者からなる『香美町就学前施設における教育・保育スタンダードカリキュラム策定委員会』を設置し、さらに関係園所の主任教諭・主任保育士も参加し、共通カリキュラムの策定に取り組んでいます。

このスタンダードカリキュラムでは、現在、公立幼稚園が担っている幼児教育はもちろん、幼少期における横のつながりや小学校との縦のつながりを育む取り組みなどを盛り込み、認定こども園化後も町内全ての施設で実践していくことを目指します。